

☆ 吹く遊び

発音の多くは口から息を出して発音しますが、中には鼻を使って発音する（鼻音）「ナ行」や「マ行」、「ン」などがあります。逆にいうと、そのほかの発音をするときに鼻から息が漏れていると、それは正しい発音ではないということになります。

吹く遊びをすることで、呼吸（吐く息）を鼻からもらさずに口だけから出す練習ができます。

〈吹く遊びの例〉

- 紙吹雪やティッシュなどを吹く
- シャボン玉を吹く
- ラッパやハーモニカ、笛などを吹く
- 巻き笛などを吹いて伸ばす
- かざぐるまなどを吹いて回す
- 軽い玉などを吹いて飛ばしたり、転がしたりする
- ゴム風船や紙風船、ビニール袋などを吹いて膨らませる
- ストローで息を吹き、水をブクブクさせる



強く吹く、そっと吹く、一定の強さで吹き続ける、長く吹くなどいろいろな吹き方があります。いろいろな遊びを経験する中で、少しずつ息の調節ができるようになっていきましょう。難しそうだったら無理強いせず、大人がするのを見せましょう。

※ホームページ内の教材の紹介でも吹くおもちゃ【びっくりコップ】の紹介をしています。

